

CKプロジェクト

京都大学・キヤノン 協働研究プロジェクト シンポジウム

文部科学省〈イノベーションシステム整備事業〉
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム

「高次生体イメージング先端テクノハブ」

「高次生体イメージング先端テクノハブ」(CKプロジェクト)は、平成18年度より文部科学省科学技術振興調整費「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」プログラムの支援を受け、京都大学とキヤノンが協働で10年間の長期戦略をもって取り組むプロジェクトです。

基礎医学の研究成果を臨床医学分野の画像診断モダリティとして実用化するために、医療現場が求める「分子プローブを統合した高次生体イメージング」のイノベーションにフォーカスした融合研究を推進しています。3年次の再審査を経て、本プロジェクトは現在までに多くの成果を上げてきました。昨年度は臨床研究の拠点も整備でき、プログラムの完遂に向けて着実な歩みを進めています。本シンポジウムでは、国内の著名な先生方をお招きし、ご講演をいただくとともに7年目を迎えた「京都大学・キヤノン協働研究プロジェクト」の最新の研究結果をご紹介します。

2012.07.30 (月)

13:00-17:00 (受付 12:30~)

学士会館210室

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL.03-3292-5936

東京メトロ半蔵門線/都営三田線・新宿線

神保町駅 A9出口より徒歩1分

東京メトロ東西線

竹橋駅 3a出口より徒歩5分



特別講演

梶谷文彦氏 川崎医療福祉大学特任教授

医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)共同議長

タイトル:「医療機器のライフイノベーションへの期待」

浦野泰照氏 東京大学医学系研究科教授

タイトル:「スマートプローブの精密開発によるin vivo高精細がん蛍光イメージングの実現」

プロジェクト成果紹介

最新の研究成果等、大学システム改革

参加お申込み・お問合せ先 ● CK協働プロジェクト事務支援室

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL ● 075-753-4896

e-mail ● 090gcanon@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

URL ● <http://www-gs.kogaku.kyoto-u.ac.jp/ck/>